

新図書館のコンセプト及び導入機能

1 新図書館の基本コンセプト

新図書館のあり方の検討を踏まえ、新図書館の基本的な考え方を次の通りとする。

新図書館は、子どもたちを中心に市民の読書活動を推進し、市民の知的好奇心を刺激するとともに、各種課題の解決に取り組めるように、資料や情報の収集と発信を行う図書館とする。また、積極的にIT化を進め、市民の貸し出しや予約などのサービスの利便性を高め、誰もが足を運びたくなる環境とサービスを提供する図書館とする。

それにより、急速に変化する社会において、市民に求められる図書館であり続ける。

新図書館の基本コンセプト

「すべての市民が
集い、学び、育ち、交流し、つながり、
新しい価値を創造する図書館」

「育む」「つながる」、「創造する」 3つの出会いの PLACE (場所) を提供することで新たな時代に対応する図書館を目指す。

■育む

- ・子どもたちを中心にすべての市民を読書へ誘い、本がある豊かな生活をおくれるよう、魅力的な読書 PLACE を提供する。
- ・市民が自ら地域課題を解決できるよう、学習 PLACE を提供する。

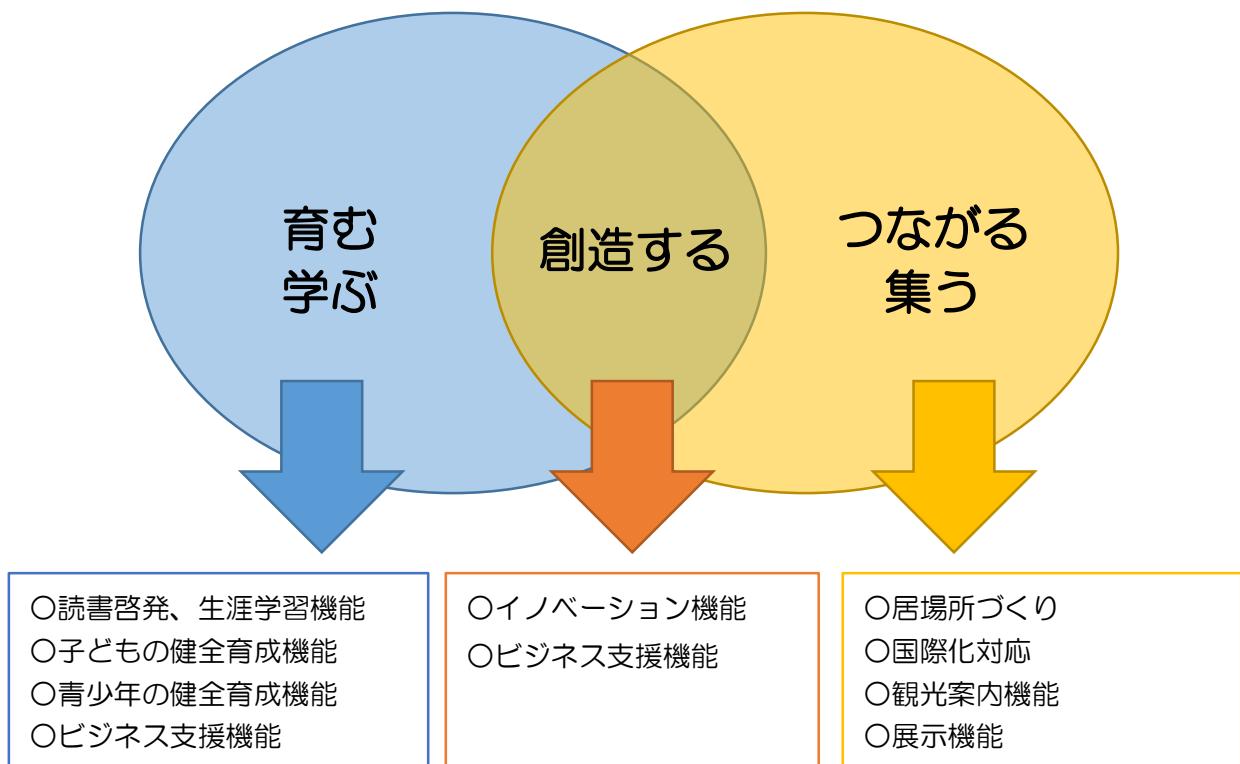
■つながる

- ・多世代の市民、国内外の人々が集い交流することで、人と人を、知識と人を、地域と地域を、地域と外国をつなぐ PLACE を提供する。

■創造する

- ・市民が交流し、楽しみ、憩い、好奇心が刺激され、新たな価値を創造できる PLACE を提供する。

2 導入機能



○各機能とサービスのイメージ (資料 2-2、資料 2-3 参照)

- ・読書啓発、生涯学習機能 (書籍の収集と貸し出し、レファレンス充実)
- ・子どもの健全育成機能 (児童書、絵本などの収集とお話し会等の開催)
- ・青少年の健全育成 (ヤングアダルト図書の収集と専門コーナー)
- ・居場所機能 (閲覧席の拡充、幼児向けプレイルーム、カフェ、ショップ)
- ・ビジネス支援機能 (ビジネス図書充実、有料データ、打合わせデスク、PC、専用ブース)
- ・国際化・IT化対応 (多言語図書の収集、インターネット、相談窓口、自動貸出、Wi-Fi、監視カメラ、センサー)
- ・観光案内機能 (観光案内窓口)
- ・泉大津市歴史コーナー (展示、歴史紹介)
- ・イノベーションコーナー (市民、企業等との交流)